

3月定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。
その主なものを要約して掲載しています。
なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。

市政を問う



産業厚生委員会 継続審査報告



本委員会では、これまで閉会中継続審査事件として「市立病院の今後のあり方」、「多久市の基幹産業である農業について」、調査・検討を進めて来ました。

これまでの審査を踏まえ、市長に対して次の2項目について申し入れを行いました。

①市立病院の今後のあり方について

立地については、統合、建て替えに際し、救急搬送時の中継点として国道203号東多久バイパス、高速道路とのアクセスなど交通の利便性を考慮すること。

診療科目及び体制については、県央部の二次医療が脆弱な地域であることから、診療科目や周辺の医療機関との役割分担や連携、医師確保について県及び医師会と十分な協議を行うこと。

②多久市の基幹産業である農業について

喫緊の課題である農業用廃プラスチック回収料金改定に伴う助成額の増額、多久カントリー施設の機械更新及び補修工事につ



いての補助事業、燃料価格高騰対策を行えないか検討すること。
農業振興については、農業問題だけではなく多面的機能や集落の維持など、市の状況に合致し、農業経営がより安定するよう将来を見据えた中長期の計画を策定し、施策の充実を行うこと。
市にとって、市立病院、農業の今後は、市民生活の上で非常に重要な課題であるため、次期産業厚生委員会に継続審査を託したい。

議会広報委員会 視察報告



平成31年1月30日に大分県議会、翌31日に熊本県玉名市議会において、議会広報について委員会視察を行いました。

大分県議会では申し込みのあった学校に議員が出向いて講座を行う「議員出前講座」に取り組みされました。



市では平成31年1月に子ども議会を実施しており、事前学習として議員出前講座を行う事でより良い子ども議会になるのではないかと、全議員協議し、取り組んでみてはどうかという意見がありました。



議会だよりについては、文字数が多く、読みづらいなど意見があり、堅いイメージを払拭していくためにも、以下の事項を次号以降検討していく事となりました。

①記事の字体をより柔らかい印象のものに変更する。

②審査報告委員会報告は取捨選択し2・3項目とする。

③一般質問での質問内容は1項目に絞り、文字数を減らす。

また、より親しみやすい議会広報誌にするため、議会だよりに愛称をつけてはどうか、表題を多久市の子どもたちに書いてもらってはどうかなどの意見もできました。

新図書館整備に関して



飯守 康洋

飯守 財政計画について。

答弁 多久市総合計画に基づいて毎年度いろんな事業を展開しています。その中で、5カ年間の歳入歳出のシミュレーションを行っており、これをもとに中期財政計画を作成して行政を運営しています。この計画においては、近年で見ると、弓道場の建設や広域クリーンセンターの建設、また、関連し、スポーツ・レクリエーション施設整備などの大型の事業とあわせ、この新図書館整備事業についても基本設計及び実施設計



などの費用に約1億円、また、図書館の本体の工事費として約7億円や、周囲の外構工事費として約2億円程度、また、運営経費や維持管理費として、年間約7500万円程度を見込み、計画の中に含んで作成しています。

この実施計画等については、過疎計画と連動しているため、県、国と協議しており、実施設計費や本体工事費については過疎債の対象となり、全体の財政運営をしっかりと見据えながら、他の事業との調整等を行い、そのことにより図書館整備は可能と判断をしています。

